

< あなたの治療について >


消・外-XELIRI-大腸-q3w



今回の治療は、XELIRI 療法という治療法で、カペシタピンというのみ薬とイリノテカン（CPT11）という注射薬を併用して行います。カペシタピン、イリノテカンは、共に腫瘍の増殖を抑えるお薬です。2つの薬を組み合わせることで、より効果を高めることができます。

治療全体の流れ

今回の化学療法は3週間が1コースとなっています。各コースの1日目に点滴を行い、1日目の点滴の日の夕から15日目の朝に渡ってのみ薬を服用します。（2日目の朝から15日目の夕まで服用する場合があります）この治療を3週間（21日間）ごとに繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

1コース分の治療スケジュール

	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目(夕)~15日目(朝)	16~21日目
	カペシタピン (抗がん剤) 1600mg/m <sup>2</sup> /日	内服		お休み

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2~21日目
	グラニセトロン デキサート (吐き気止め)	点滴 約15分		お休み
	イリノテカン (抗がん剤) 200mg/m <sup>2</sup>	点滴 約90分		

点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなったりはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

起こりやすい副作用について（頻度20%以上）

カペシタピン・イリノテカンについて

白血球減少、リンパ球数減少、赤血球数減少、ヘモグロビン減少・貧血、血小板減少  
血中ビリルビン増加 悪心・嘔吐、食欲不振 下痢、腹痛 口内炎 手足症候群

特徴的な副作用について

イリノテカンにおける

過敏症状

呼吸困難、血圧低下等

下痢

\*排便回数の増加、水様便又は腹痛を伴うような場合は、医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。

腸管穿孔、消化管出血、腸閉塞、腸炎

激しい下痢、腹痛、下血、頑固な便秘など

間質性肺炎

「息切れがする、息苦しくなる；から咳が出る、発熱」などの症状

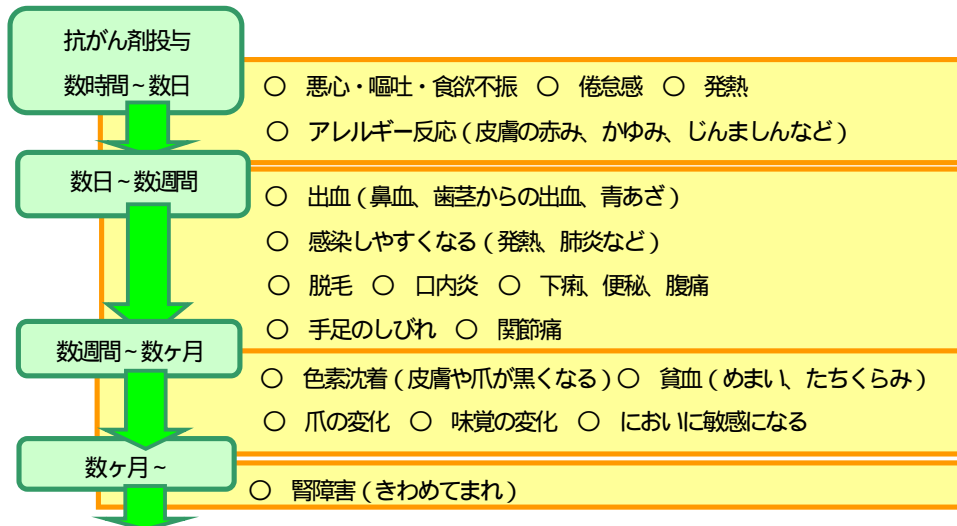
**\* 上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。**

## 副作用の発現時期の目安

\*この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗がん剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



## 副作用の対策について

吐き気・嘔吐、下痢と便秘、口内炎、感染症、出血、貧血、脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

## 薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）

**まれな副作用ですが、この様な症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。**

### 【イリノテカン】

<骨髄機能抑制> いつもより体がだるく熱っぽい、皮下出血がある。

<重症感染症（敗血症、肺炎等）> 寒気がする。ふるえを伴う急激な高熱がでる。脈拍数が増加する。筋肉痛がある。関節が痛い。血圧が下がる。咳や痰が出る。息切れがする。

<DIC（播種性血管内凝固症候群）> 階段や坂を上る時に心臓がドキドキする。息切れがする。身体がだるくなる。鼻血、歯ぐきの出血、皮下出血など、出血しやすくなる。

<感染症> 寒気がする。熱がある。だるい。

<下痢・腸炎> 泥状または水様の便が続く。突然、下痢になったり、吐き気、おなかが痛くなる。また、長期的に下痢や便秘異常が続いたり、便に粘液が混ざることがある。

<腸管麻痺・腸閉塞> おなかが張って痛み、吐き気がする。便が出なくなったり、おならが止まる。

<消化管出血> 暗赤色・鮮血色の血液が便の表面に付着する。イチゴゼリー状の便、黒色便、タール便がでる。

<腸管穿孔> 激しい腹痛が始まり痛みが持続する。

<過敏症> 発しんやかゆみなどがでる。熱感があつて、だるい。気分が悪い。

<ショック> 下痢や吐いた後、顔が青ざめる。冷汗がでる。立ちくらみやめまいがする。息切れがする。意識がなくなる。

<アナフィラキシー様症状> 口の中に違和感を感じる。唇がしびれる。息苦しくなる。蕁麻疹（じんましん）やかゆみがでる。眼や唇のまわりが腫れる。意識障害がある。心臓がドキドキする。息切れがする。身体がだるくなる。頬などが赤らむ。

<肝機能障害> 身体がだるくなり、吐き気がする。尿の色が濃くなる。白目や皮膚が黄色くなる。

<急性腎不全> 尿量が少ない。食欲がでない。身体がだるい。むくむ。

<間質性肺炎・肺線維症> から咳がでる。息苦しい。息切れがする。

<肺塞栓症> 突然、息が苦しくなり、胸骨（胸の中央の骨）の下に不快感を覚える。脈が速くなる。

<静脈血栓症> 下半身に血液がうっ滞をおこしたところが腫れたり、口唇や頬が青紫色になる。歩行により痛みが増す。

<心筋梗塞> 突然、胸が締めつけられたり、焼けるような痛みが強く、長く続く。

<狭心症発作> 急に胸が締めつけられたり、押さえつけられたり、詰まったような痛みがおこる。胸だけでなく、みぞおち付近や左腕、肩まで痛みがひびくことがある。

<心室性期外収縮> 瞬間的に心臓がドキッとしたり、脈が抜けたような感じや息が詰まる感じがする。

## 【カベシタピン】

<脱水症状> からだがかたくなる、のどが渇く、深く大きい呼吸、手指のふるえ、尿量が減る、意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力の低下

<手足症候群 (Hand-foot syndrome)> 手のひらや足の裏の感覚が鈍くなったり過敏になる、赤くはれ上がる、痛み、皮がむける、水ぶくれ、ただれ

<心障害> からだがかたくなる、全身のむくみ、冷や汗、めまい、横になるより座っている時に呼吸が楽になる、息苦しい、息切れ、胸がドキドキする、動く時の動悸、胸の痛み、狭心痛、胸がしめつけられる感じ、胸が押しつぶされるような感じ、胸を強く押さえつけた感じ、急激に胸を強く押さえつけられた感じ、気を失う

<肝障害、黄疸> からだがかたくなる、白目や皮膚が黄色くなる、かゆみ、尿が黄色い・褐色になる、食欲不振、吐き気、嘔吐

<腎障害> 頭痛、顔のむくみ、眼がはれぼたたい、尿量が減る

<骨髄抑制> からだがかたくなる、発熱、鼻血、歯ぐきの出血、息切れ、あおさができる、出血が止まりにくい、出血しやすい

<口内炎> 口の中が荒れて痛い

<間質性肺炎> から咳、息苦しい、発熱、頭痛

<重篤な腸炎 (出血性腸炎、虚血性腸炎、壊死性腸炎など)> 激しい腹痛、下痢、血が混ざった便、発熱、むかむかする、吐き気、嘔吐、腹がはる

<重篤な精神神経系障害 (白質脳症など)> 物忘れ、ふらつき、ぼんやりする、覚えられない、しゃべりにくい、意識がなくなる、けいれん

<血栓塞栓症> 手足のまひやしびれ、しゃべりにくい、胸の痛み、呼吸困難、片方の足の急激な痛みや腫れ、背中の痛み

<皮膚粘膜剥脱症候群 (Stevens-Johnson 症候群)> からだがかたくなる、食欲不振、発熱、高熱、中央にむくみを伴った赤い斑点、赤い発疹、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、陰部の痛み

<溶血性貧血> 体がだるいめまい、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、息切れ、尿の色が濃くなる

**上記のほかにも副作用が現れることがあります。**

**他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。**